

👑 総務大臣賞 👑

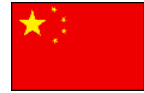
北九州市(福岡県)

提携先: 大連市(中国)

仁川広域市(韓国)

提携年月日: 1979年5月1日

1988年12月20日

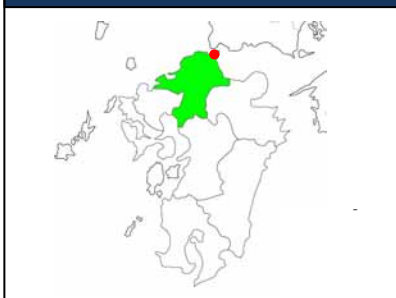


東アジア経済交流推進機構、及びその活動のひとつである共同プロジェクト 「2009 環黄海イヤー」及び「日中韓 10 都市海岸クリーンアップ事業」

地域の概要

交流事業の概要

北九州市



人口: 981,200人 (H21.3.31)

面積: 487.66 km²

概要: 鉄鋼をはじめ素材型産業をベースに金型、メカトロなど世界的な技術が集積。ひびきコンテナターミナルや北九州空港により、物流や企業誘致でアジアとの連携を強化。一方、公害克服の経験からアジア諸国へ国際協力に努め、2008年に国の「環境モデル都市」の認定を受けている。

大連市 / 仁川広域市



大連市(中国)

人口: 5,848,000人

面積: 12,574km²

仁川広域市(韓国)

人口: 2,769,278人

面積: 1,010 km²

- 北九州市は、港湾の工業都市として性格が類似する大連市、仁川広域市と長年にわたり幅広い交流を実施している。
- 東アジア経済交流推進機構は、北九州市が提唱した「環黄海経済圏」構想のもと、経済交流に的を絞った都市間連携を推進するため、2004年に環黄海圏の日中韓10都市の行政と商工会議所を主体とする経済界が一体となり創設した。
- 経済のグローバル化が加速するなかで、地域が生き残るためには、国際連携を強めながらその特性を活かした地域づくりを強化することが重要と考え、経済交流のプラットフォームとして機能することを狙いとしている。
- 2009年は、世界環境デーの前後の期間に全都市一斉に市民主体の海岸清掃を行う「10都市海岸クリーンアップ事業」(環境部会)、各都市の国際イベントを活用して相互に連続的な観光プロモーションを行う「環黄海イヤー」(観光部会)に取り組み、環黄海地区における環境モデル地区構築、環黄海観光ブランドの創出に向けて新しい一歩を踏み出したところである。
- また、2010年からは、10都市間の貿易・投資を中心とするビジネス環境を相互に改善し、地方版EPAの創設を目指す新規共同事業「環黄海ACTION」を始めたところである。

評価のポイント

- ⇒ 長年にわたる自らの姉妹自治体間(二都市間)の交流に加え、さらに多様な国際交流の促進・拡大を図るため、他の複数の姉妹自治体を取り込んだ「東アジア経済交流推進機構」を同市が中心となって設立・運営し、そこを基盤に、共通の利益に関わる幅広い分野での国際交流事業を実施している(友好親善から課題解決型の交流、二都市間(線)から多都市間(面)の交流への発展系として今後の姉妹交流のモデルとなりうる事例)。
- ⇒ 海を共有している同機構各都市の市民が海岸清掃を一斉に行うクリーンアップ事業は、今日的な課題であるゴミ問題を、各都市の国際的な連携により解決を図ろうとするものとして、先駆的な取組と言える。



東アジア経済交流推進機構 環境部会共同プロジェクト 「10都市海岸クリーンアップ事業」



東アジア経済交流推進機構 会員 10都市観光キャラクター

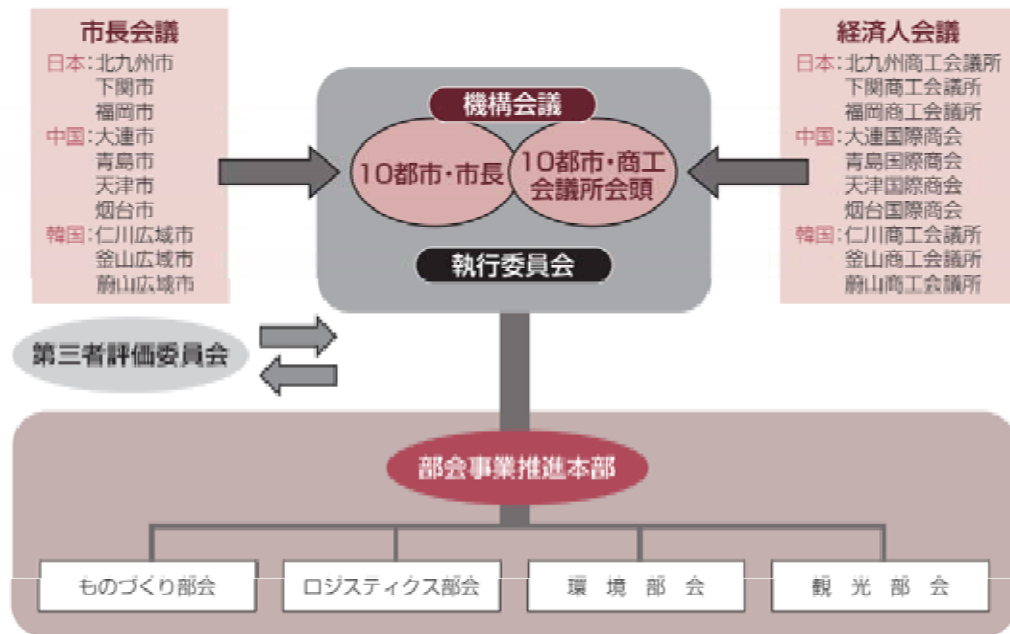


東アジア経済交流推進機構 観光部会共同プロジェクト 「環黄海イヤー2009」キャンペーン



東アジア経済交流推進機構 第3回総会(市長・会頭会議)

東アジア経済交流推進機構 組織図



【問い合わせ先】

北九州市企画文化局国際部アジア交流課
 住所：〒803 - 8501 北九州市小倉北区内 1 - 1
 電話：093-582-2162 FAX：093-582-2176
 E-mail：ki-asia@city.kitakyushu.lg.jp
 URL：http://www.city.kitakyushu.jp